

H20 高知県 公立 数学 問題

数-08-公-高知-問-01

1 次の問1～問5の計算をなさい。

問1 $5 - 7$

問2 $27 \div (-3)$

問3 $2ab^2 \times (3b)^2 \div (-3ab^2)$

問4 $(x+3)(x-2) - x(x-4)$

問5 $\sqrt{32} - \frac{4}{\sqrt{2}} + \sqrt{50}$

数-08-公-高知-問-02

2 次の問1～問6に答えなさい。

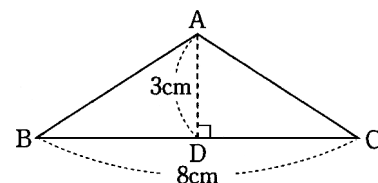
問1 $3 < \sqrt{n} < 4$ となるような自然数 n の個数を求めよ。

問2 2次方程式 $x^2 + 2x - 8 = 0$ を解け。

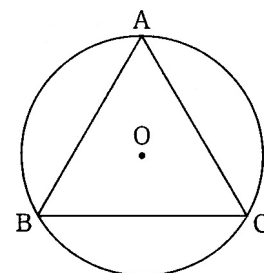
問3 関数 $y = \frac{1}{3}x^2$ について、 x が3から9まで増加するときの変化の割合を求めよ。

問4 1から3までの数字を1つずつ記入した6枚のカード $\boxed{1}, \boxed{1}, \boxed{2}, \boxed{2}, \boxed{2}, \boxed{3}$ がある。この6枚のカードを裏返してよく混ぜ、そこから同時に2枚のカードをひくとき、2枚のカードに書かれた数の和が4となる確率を求めよ。ただし、どのカードがひかれることも同様に確からしいものとする。

問5 右の図のような $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC がある。点 A から辺 BC に垂線をひき、辺 BC との交点を D とする。 $BC = 8\text{ cm}$ 、 $AD = 3\text{ cm}$ のとき、辺 BC を軸として1回転させたときにできる立体の体積を求めよ。ただし、円周率には π を用いること。



問6 右の図のように、3点 A, B, C は円 O の周上にあり、3点を結んでできる三角形 ABC は1辺の長さが $2\sqrt{3}\text{ cm}$ の正三角形である。このとき、点 A を含まないほうの弧 BC の長さを求めよ。ただし、円周率には π を用いること。



- 3 右の図のように、直線 ℓ と直線 ℓ 上にない点 P がある。点 P を通り、直線 ℓ に垂直な直線を、定規とコンパスを使って作図しなさい。

P・

ただし、定規は直線をひくときに使い、長さを測ったり角度を利用したりしてはいけません。なお、作図に使った線は消さずに残しておくこと。

ℓ —————

- 4 次の規則にしたがって、左から数を並べていく。このとき、下の問1～問3に答えなさい。

規 則

- ・ 1 番目の数と 2 番目の数を定める。
- ・ 3 番目以降の数は、2 つ前の数と 1 つ前の数の和とする。

(例) 1 番目の数が 1, 2 番目の数が 2 の場合、1 番目の数から順に並べると次のようになる。
1, 2, 3, 5, 8, 13, ……

問1 1 番目の数が - 2, 2 番目の数が 1 のとき、10 番目の数を求めよ。

問2 1 番目の数が a , 2 番目の数が b のとき、4 番目の数を a, b を用いて表せ。

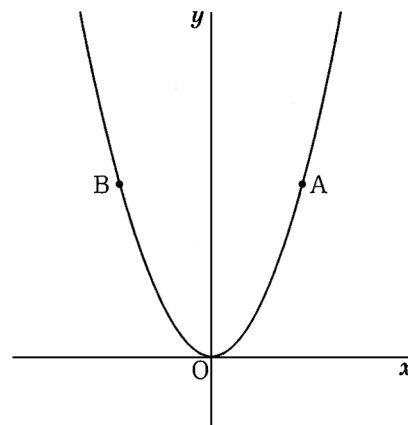
問3 4 番目の数が 13, 8 番目の数が 92 のとき、1 番目の数と 2 番目の数をそれぞれ求めよ。

- 5 下の図は、関数 $y = ax^2$ のグラフで、点 A, B はこのグラフ上にある。点 A の座標は $(4, 8)$ であり、点 B は点 A と y 軸について対称である。このとき、次の問1・問2に答えなさい。

問1 定数 a の値を求めよ。

問2 y 軸上に点 C をとり、四角形 $OACB$ がひし形となるようにするとき、次の(1)・(2)の問いに答えよ。

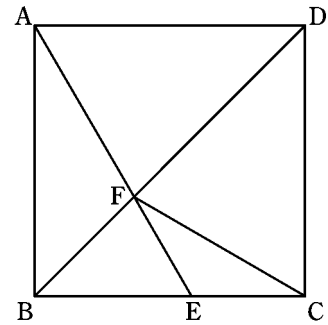
- (1) 2 点 A, C を通る直線の式を求めよ。
- (2) 線分 AC 上に点 D をとり、三角形 OAD と四角形 $ODCB$ の面積の比が $1 : 3$ のとき、点 D の座標を求めよ。

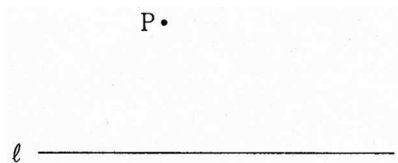


- 6 下の図のように，正方形 $ABCD$ がある。この正方形の辺 BC 上に点 E をとり，対角線 BD と線分 AE との交点を F とし，点 C と点 F を結ぶ。このとき，次の問 1・問 2 に答えなさい。

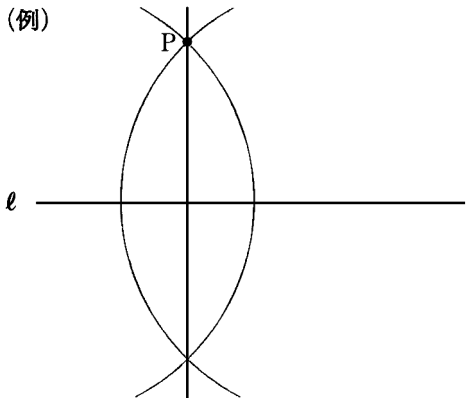
問 1 $\triangle ADF \cong \triangle CDF$ を証明せよ。

問 2 $BE : EC = 4 : 3$ のとき， $CF : EF$ を最も簡単な整数の比で表せ。



	問題番号	解 答	配点	備 考
数〇公高知ノ〇〇	1	問 1		
		問 2		
		問 3		
		問 4		
		問 5		
数〇公高知ノ〇〇	2	問 1	個	
		問 2		
		問 3		
		問 4		
		問 5	cm ³	
		問 6	cm	
数〇公高知ノ〇〇	3			
数〇公高知ノ〇〇	4	問 1		
		問 2		
		問 3	1 番目の数	
			2 番目の数	

	問題番号		解 答		配点	備 考
数Ⅱ 公立高知大 2020	5	問 1	$a =$			
		問 2	(1)			
			(2)	(,)		
数Ⅱ 公立高知大 2020	6	問 1	【証明】 ADF と CDF において したがって ADF CDF			
		問 2	CF : EF =			

	問題番号	解 答	配点	備 考
数〇公高知ノ〇	1	問 1	- 2	2
		問 2	- 9	2
		問 3	$- 6b^2$	2
		問 4	$5x - 6$	2
		問 5	$7\sqrt{2}$	2
数〇公高知ノ〇	2	問 1	6 個	3
		問 2	$x = - 4 , x = 2$	3
		問 3	4	3
		問 4	$\frac{1}{3}$	3
		問 5	24 cm^3	3
		問 6	$\frac{4}{3} \text{ cm}$	3
数〇公高知ノ〇	3	<div> <div>(例)</div>  </div>	3	
数〇公高知ノ〇	4	問 1	- 8	1
		問 2	$a + 2b$	2
		問 3	<div>1 番目の数 5</div> <div>2 番目の数 4</div>	2

	問題番号		解 答		配点	備 考
数 の 公 高 知 不 の	5	問 1	$a = \frac{1}{2}$		2	
		問 2	(1)	$y = -2x + 16$	3	
			(2)	$(2, 12)$	3	
数 の 公 高 知 不 の	6	問 1	<p>【証明】</p> <p>ADF と CDF において</p> <p>DF は共通</p> <p>正方形の各辺は等しいから</p> <p>AD = CD</p> <p>また, ABD, CBD はともに直角二等辺三角形であるので</p> <p>ADF = CDF</p> <p>, , より</p> <p>2 辺とその間の角がそれぞれ等しい</p> <p>したがって ADF CDF</p>		3	
		問 2	CF : EF = 7 : 4		3	

数-08-公-高知-KS-01

1 問3 $2ab^2 \times (3b)^2 \div (-3ab^2) = -\frac{2ab^2 \times 9b^2}{3ab^2} = -6b^2$

問5 $\sqrt{32} - \frac{4}{\sqrt{2}} + \sqrt{50} = 4\sqrt{2} - \frac{4\sqrt{2}}{2} + 5\sqrt{2} = 4\sqrt{2} - 2\sqrt{2} + 5\sqrt{2} = 7\sqrt{2}$

数-08-公-高知-KS-02

2 問1 $3 = \sqrt{9}$, $4 = \sqrt{16}$ より, $9 < n < 16$ n は自然数だから, $n = 10, 11, 12, 13, 14, 15$ の6個

問3 $x = 3$ のとき, $y = \frac{1}{3} \times 3^2 = 3$ $x = 9$ のとき, $y = \frac{1}{3} \times 9^2 = 27$ よって, (変化の割合) =

$$(y \text{ の増加量}) \div (x \text{ の増加量}) = (27 - 3) \div (9 - 3) = 24 \div 6 = 4$$

問5 $AB = AC$, $AD \perp BC$ より, $BD = CD = \frac{8}{2} = 4$ よって, 求める体積は AD を底面の半径とする高さ

$$4 \text{ cm の円すいを } 2 \text{ つあわせたものだから, } \frac{1}{3} \times \pi \times 3^2 \times 4 \times 2 = 24 \pi \text{ (cm}^3\text{)}$$

問6 O と B , O と C を結び, O から BC に垂線 OH をひく。 ABC は正三角形なので, $\angle BAC = 60^\circ$ 円周角の定理より, $\angle BOC = 2 \angle BAC = 2 \times 60^\circ = 120^\circ$ OBC は $OB = OC$ の二等辺三角形だから,

$$\angle BOH = \angle COH = \frac{1}{2} \times 120^\circ = 60^\circ \text{ よって, } \triangle OBH \text{ は } \angle OH : OB : BH = 1 : 2 : \sqrt{3} \text{ の直角三角形で,}$$

$$BH = CH = \frac{1}{2} \times 2\sqrt{3} = \sqrt{3} \text{ だから, } \angle OBH : \angle BOH = 2 : \sqrt{3} \quad \angle OBH = 2 \text{ したがって, 求める弧 } BC \text{ の長さは,}$$

$$2 \times 2 \times \frac{120}{360} = \frac{4}{3} \text{ (cm)}$$

数-08-公-高知-KS-03

3 点 P を中心とする円をかき, 直線 ℓ との交点を A, B とする。2 点 A, B を中心とする等しい半径の円をかき, その交点の1つを C とする。 PC を結ぶ直線が求める直線である。

数-08-公-高知-KS-04

4 問2 1 番目の数が a , 2 番目の数が b のとき, 3 番目の数は $a + b$ 4 番目の数は, $b + (a + b) = a + 2b$

問3 問2 に続けて, 5 番目の数は, $(a + b) + (a + 2b) = 2a + 3b$, 6 番目の数は, $(a + 2b) + (2a + 3b) =$

$3a + 5b$, 7 番目の数は, $(2a + 3b) + (3a + 5b) = 5a + 8b$, 8 番目の数は, $(3a + 5b) + (5a + 8b) = 8a + 13b$ と表せる。4 番目の数が 13 より, $a + 2b = 13 \dots (\text{ア})$ 8 番目の数が 92 より, $8a + 13b = 92 \dots (\text{イ})$ (ア), (イ) を連立方程式として解くと, $a = 5, b = 4$ よって, 1 番目の数は 5, 2 番目の数は 4

数-08-公-高知-KS-05

5 問2 (1) AB の中点を M とする。 $A(4, 8)$ で, B は A と y 軸について対称な点だから $B(-4, 8)$ より, $M(0, 8)$ ひし形の対角線はそれぞれの中点で垂直に交わるから, $OM = CM$ で, C は y 軸上の点になる。よって, $C(0, 16)$ 直線 AC の傾きは, $(8 - 16) \div (4 - 0) = -\frac{8}{4} = -2$ したがって, 直線 AC

の式は, $y = -2x + 16$

(2) $\angle OAD : (\text{四角形 } ODCB) = 1 : 3$, $\angle OAC : \angle OBC = 1 : 1 = 2 : 2$ より, $\angle OAC : \angle OAD = 2 : 1$

よって, $\angle OAD : \angle OCD = 1 : 1$ したがって, D は線分 AC の中点となる。 D の x 座標は, $\frac{4}{2} = 2$, y 座標は, $8 + (16 - 8) \div 2 = 12$ $D(2, 12)$

数-08-公-高知-KS-06

6 問2 $ADF \cong CDF$ より, $AF = CF$ よって, $CF : EF = AF : EF$ $AD \parallel BE$ より, $AF : EF = AD : BE = (4 + 3) : 4 = 7 : 4$ したがって, $CF : EF = 7 : 4$